



株式会社クレオ

2019年3月期 第1四半期 決算 補足説明資料

2018年7月31日

株式会社クレオ (JASDAQ:9698)

2019年3月期 1Q 連結業績概要

(単位：百万円、%)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 計画値	2019年3月期 1Q 実績	前期比		対計画比	
				増減	%	増減	%
売上高	2,577	2,600	2,839	262	10.2	239	9.2
営業利益	▲115	▲85	4	120	-	89	-
経常利益	▲111	▲80	7	119	-	87	-
純利益	▲127	▲95	▲1	126	-	94	-

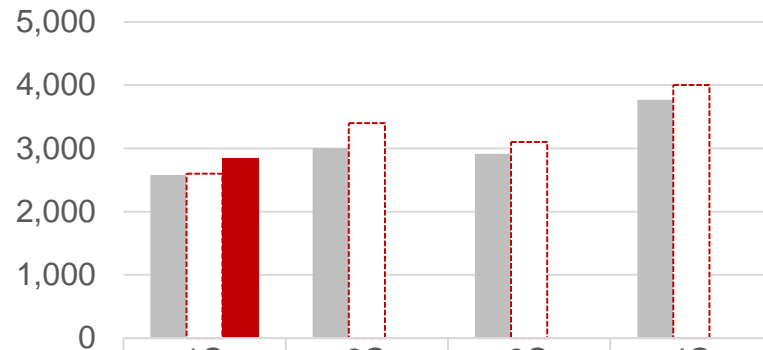
■ 連結業績概要について

- 売上高：サポートサービス事業を除くすべての事業の伸長により、前期比で2億62百万円増加
- 営業利益：ソリューションサービス事業の増益が寄与したことなどにより、前期比で1億20百万円増加
- 経常利益：営業利益の増加により、前期比で1億19百万円増加
- 純利益：営業利益の増加により、前期比で1億26百万円増加

四半期別の売上高・営業利益

四半期別売上高

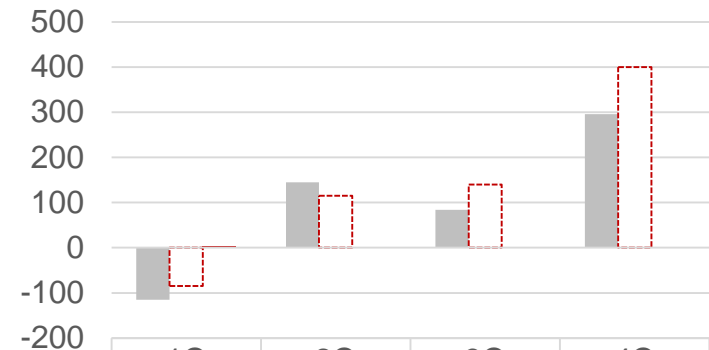
(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	2,577	3,004	2,915	3,770
□ 当期計画	2,600	3,400	3,100	4,000
■ 当期実績	2,839	-	-	-

四半期別営業利益

(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	-115	145	84	296
□ 当期計画	-85	115	140	400
■ 当期実績	4	-	-	-

■ 以下の事業特性上、特に第4四半期に営業利益計上が偏重する傾向あり

- 人事給与、会計ソリューションは新年度からの切り替えに備えて年度末に導入が集中(ソリューションサービス事業)
- 富士通グループを介して受託する官公庁向けシステム開発は年度末に納期が集中(受託開発事業)

3力年度の業績推移（第1四半期累計）

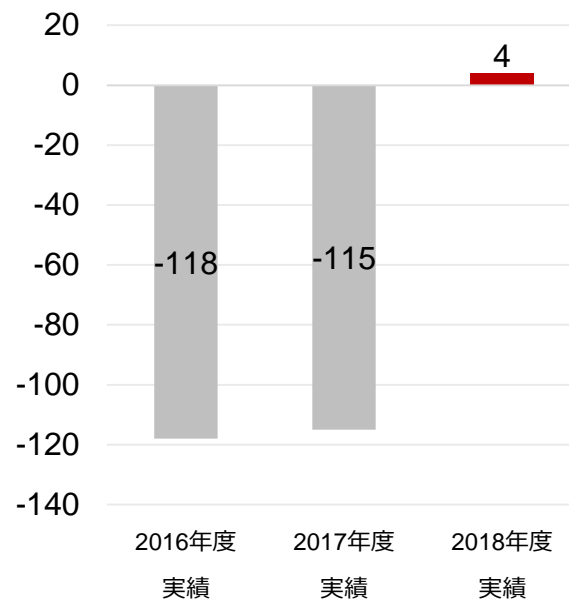
単位：百万円

売上高



2018年度サポートサービス事業を除きすべての事業の伸長

営業利益



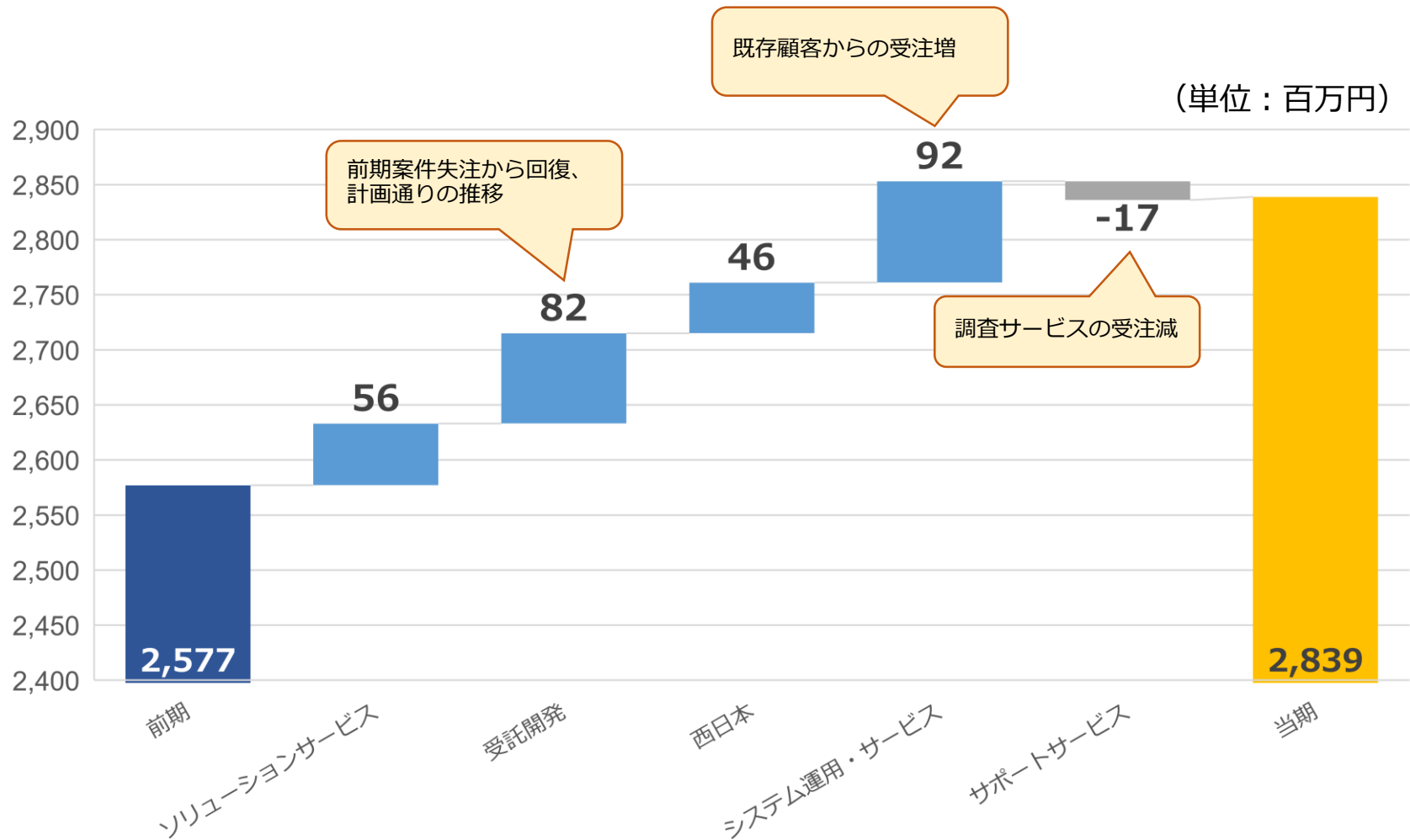
2018年度ソリューションサービス事業の増益が寄与

純利益



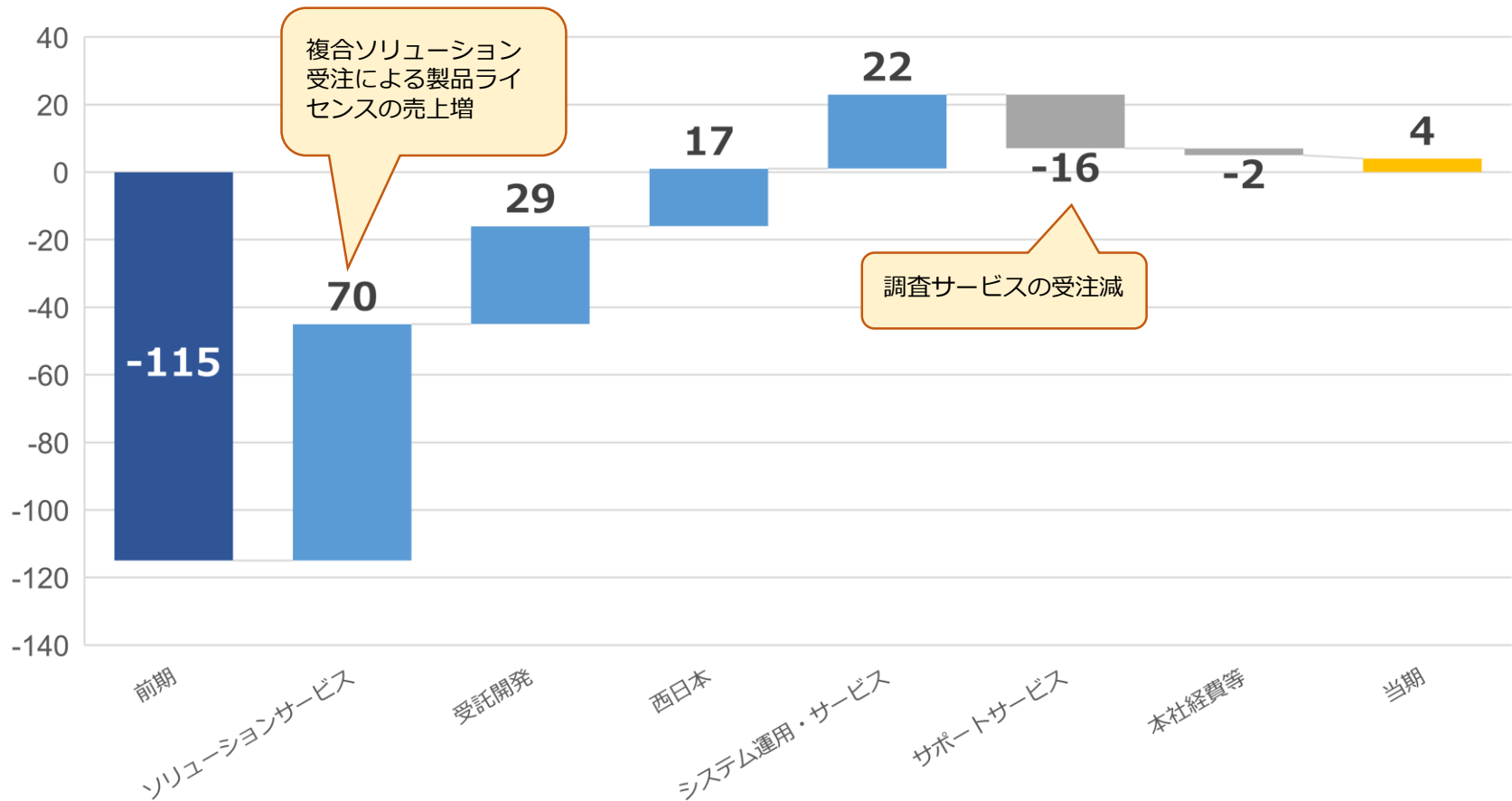
2018年度営業利益の増加による増益

連結売上高 前期比 増減内訳



連結営業利益 前期比 増減内訳

(単位：百万円)



2019年3月期 1Q セグメント別売上高の概要

(単位：百万円、%)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 計画値	2019年3月期 1Q 実績	前期比		対計画比		売上 構成比
				増減	%	増減	%	%
ソリューションサービス事業	626	650	683	56	9.1	33	5.1	24.1
受託開発事業	172	250	255	82	47.8	5	2.2	9.0
西日本事業	248	260	295	46	18.8	35	13.5	10.4
システム運用・サービス事業	479	500	572	92	19.3	72	14.5	20.1
サポートサービス事業	1,050	1,000	1,032	▲17	▲1.6	32	3.3	36.4
連結合計	2,577	2,600	2,839	262	10.2	239	9.2	100

■ 受託開発事業

前期は主要既存顧客からの案件失注などがあったことに対し、当期は案件受注が計画通りに推移

■ サポートサービス事業

調査サービスの既存顧客からの受注が減少

2019年3月期 1Q セグメント別営業利益の概要

(単位：百万円、%)

	2018年3月期 1Q 実績	2019年3月期 1Q 計画値	2019年3月期 1Q 実績	営業利益率	前期比		対計画比	
					増減	%	増減	%
ソリューションサービス事業	16	10	87	12.8	70	429.8	77	771.8
受託開発事業	4	30	33	13.3	29	724.5	3	13.3
西日本事業	7	7	24	8.3	17	229.0	17	249.1
システム運用・サービス事業	23	10	45	8.0	22	97.0	35	357.4
サポートサービス事業	29	40	12	1.2	▲16	▲57.5	▲27	▲68.9
本社経費等	▲196	▲182	▲198	-	▲2	-	▲16	-
連結合計	▲115	▲85	4	0.2	120	-	89	-

※ 連結子会社が運営する「システム運用・サービス事業」「サポートサービス事業」以外の3事業については、営業利益の算出にあたり、本社経費等の配賦を行っておりません。

■ ソリューションサービス事業

複数製品・サービスを組み合わせ提案する複合ソリューションの受注により、製品ライセンス売上を計上

■ 受託開発事業

前期は主要既存顧客からの案件失注などがあったことに対し、当期は案件受注が計画通りに推移



株式会社クレオ

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。